

2012年10月14日

プレスリリース: スタンド・アップ テイク・アクション キャンペーン



世界の貧困削減を目指し、立ち上がって写真を撮って登録するキャンペーン

スタンド・アップ テイク・アクション 全国で実施中

現在世界では、貧困が原因で4秒に1人の子ども(5歳未満)が死亡し、地球上の人口の7人に1人が飢餓に苦しんでいます。そして開発途上国に目を向けてみれば、22%の人々が1日1.25ドル未満で暮らし、43%は2ドル未満で生活しています。このような貧困状態や貧困にまつわるさまざまな困難の解決を目指して毎年10月に世界中で行われているキャンペーン「スタンド・アップ テイク・アクション」が、世界に先がけて日本で始まっています。

これは、貧困問題解決を求める一般の人々が参加するキャンペーンで、人々が立ち上がった姿を写真に撮り、それを参加人数と共にウェブサイトに登録するというキャンペーンです。その参加人数は、日本でのキャンペーン主催者である市民団体「動く→動かす」が集計し、貧困削減を求める人々の声として、日本の政府や国会議員、関係省庁や援助機関などに届けられます。日本の援助が、貧困削減のためにより一層効果的に実施されるように求める声となります。(写真右: 広島企業で)



参加方法は、キャンペーン実施期間の10月1日(月)から17日(水)までの間に撮った写真を参加人数などとともにウェブサイトから登録するだけです。報告締め切りは10月22日(月)です。事前申し込みは不要で、参加費は無料です。世界の貧困問題解決を求める市民であれば誰でも参加することができます。

今年もすでに全国で多くの人々が参加し、神戸では高等学校で行われたイベントで、在校生、来賓も含む1200人以上が立ち上がりました(写真下、10月3日付神戸新聞に掲載されました)。



また今年も、地域やコミュニティをテーマにした企画、「ご当地スタンド・アップ」のフォトコンテストが行われています。この部門は、「Re-birth(再生)」をテーマに活動する写真家の今岡昌子氏を特別審査員に、NGO団体の代表者6名を審査員に招いて行われます。地域やコミュニティの特徴がよく現れた元気のある写真を募集しています。入賞作品には、海外の民芸品やフェアトレードグッズが贈られます。

スタンド・アップ キャンペーンに関する詳細、参加写真の閲覧、登録は、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.standup2015.jp>

お問い合わせ: 諸英樹(もろひでき)「動く→動かす」

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3階

特定非営利活動法人アフリカ日本協議会 気付

電話: 03-3834-6902 FAX: 03-3834-6903 office@ugokuugokasu.jp